

図6 底生動物調査

3. 底生動物調査

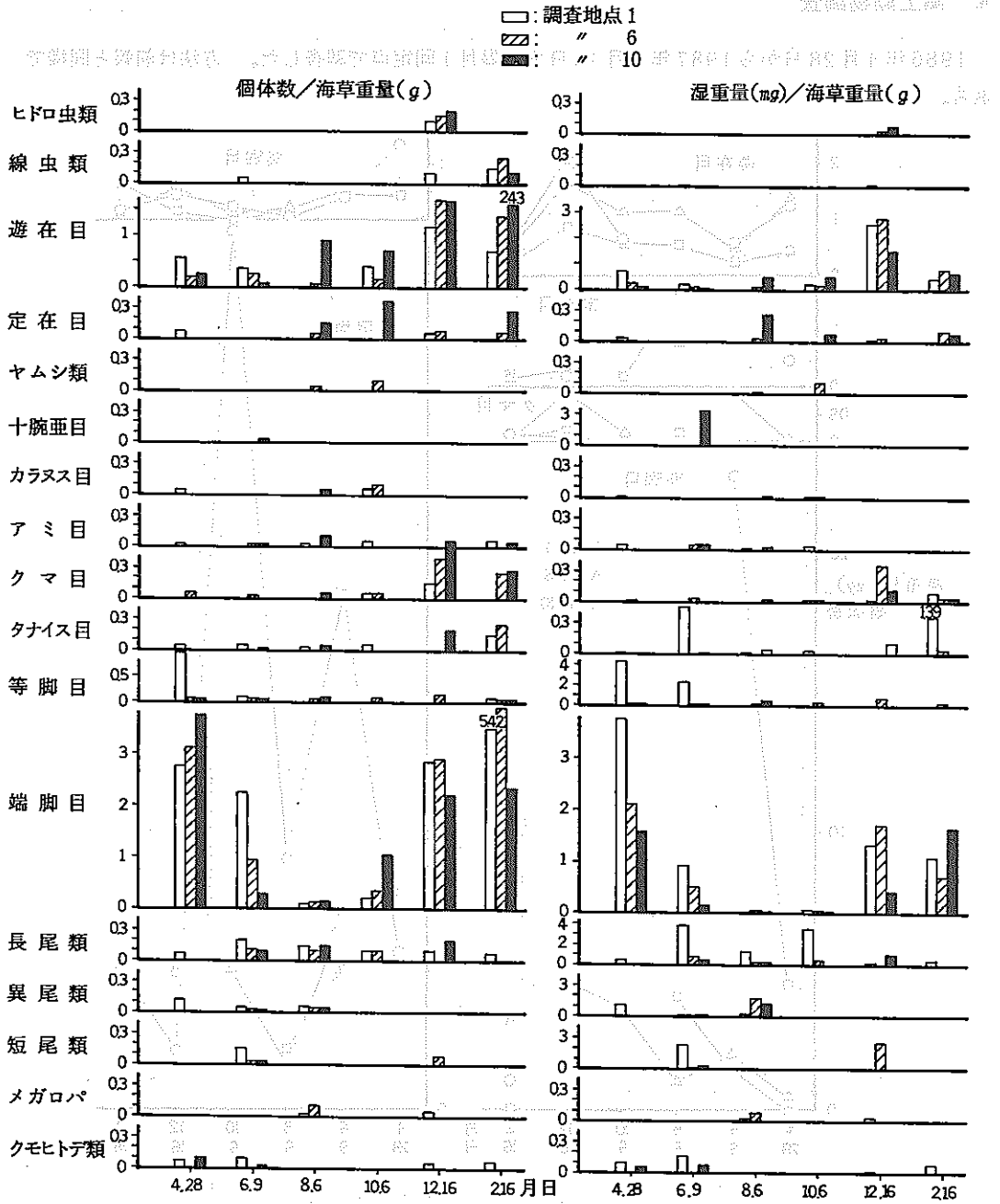
1986年7月9日と12月5日定点において採泥して底生動物の分布を調査した。方法は前報と同様である。

結果は表3と図6に示す通りで前年度と同様に線虫類、定在目、遊在目、および端脚目が比較的多く出現し、その他夏季は等脚目、長尾類、および異尾類などが、冬季はクマ目とタナイス目などがみられた。

表 4 葉上動物調査

調査地点	種類	月日	4. 28	6. 9	8. 6	10. 6	12. 16	2. 16
1	ヒドロ虫類						0.10* (0.01)	
	線虫類			0.05(<0.005)			0.10(0.01)	0.14(<0.007)
	遊在		0.56(0.71)	0.36(0.21)		0.39(0.26)	1.18(2.48)	0.70(0.41)
	定在		0.07(0.03)				0.05(0.01)	
	カラヌス目		0.05(0.01)			0.06(<0.006)		
	アミ目		0.02(0.04)		0.03(0.006)	0.06(0.02)		
	クマ目					0.06(<0.006)	0.15(0.01)	0.56(0.08)
	タナ目		0.05(0.01)	0.05(0.44)	0.03(<0.003)	0.06(0.03)		0.14(1.39)
	等脚目		0.94(4.20)	0.10(2.31)				0.07(0.08)
	端脚目		2.74(3.76)	2.23(0.90)	0.11(0.008)	0.22(0.05)	2.86(1.30)	5.42(1.08)
	長尾類		0.07(0.40)	0.20(3.77)	0.14(1.26)	0.11(3.52)	0.10(0.21)	0.07(0.36)
異尾類		0.12(1.03)	0.05(0.05)	0.06(0.21)				
短尾類			0.15(2.23)					
メガロバ				0.03(0.02)		0.05(0.03)		
クモヒトデ類		0.07(0.09)	0.10(0.15)			0.05(0.005)	0.07(0.08)	
合計		4.69(10.28)	3.29(10.06)	0.40(1.50)	0.96(3.88)	4.64(4.07)	7.17(3.48)	
6	ヒドロ虫類						0.15(0.03)	
	線虫類							0.24(0.01)
	遊在		0.18(0.23)	0.24(0.12)	0.07(0.09)	0.14(0.16)	1.68(2.76)	1.38(0.78)
	定在				0.04(0.03)		0.08(0.02)	0.06(0.10)
	ヤマシ				0.04(0.01)	0.09(0.10)		
	カラヌス目			0.02(0.05)				
	アミ目			0.02(0.02)				
	クマ目		0.06(<0.006)			0.05(0.009)	0.38(0.34)	0.24(0.03)
	タナ目							0.24(0.03)
	等脚目		0.06(0.03)	0.04(0.09)	0.04(0.04)	0.09(0.34)	0.15(0.71)	0.06(0.19)
	端脚目		3.12(2.10)	0.96(0.50)	0.15(0.03)	0.37(0.06)	2.90(1.69)	3.89(0.70)
長尾類			0.11(0.79)	0.11(0.18)	0.09(0.47)			
異尾類			0.02(0.12)	0.04(1.73)				
短尾類			0.02(0.03)			0.08(2.51)		
メガロバ				0.11(0.08)				
魚			0.02(0.04)					
合計		3.42(2.36)	1.45(1.76)	0.60(2.19)	0.92(1.15)	5.42(8.06)	6.11(1.84)	
10	ヒドロ虫類						0.19(0.07)	
	線虫類							0.10(0.01)
	遊在		0.26(0.12)	0.07(0.02)	0.89(0.48)	0.71(0.46)	1.67(1.44)	2.43(0.63)
	定在				0.15(0.26)	0.36(0.07)		0.27(0.07)
	十腕亜			0.02(3.30)				
	カラヌス目				0.05(0.01)			
	アミ目			0.02(0.05)	0.10(0.02)			0.03(0.003)
	クマ目				0.05(0.01)		0.56(0.11)	0.27(0.03)
	タナ目			0.02(0.005)	0.05(0.03)		0.19(0.09)	
	等脚目		0.04(<0.004)	0.02(0.04)	0.10(0.41)			0.03(0.003)
	端脚目		3.73(1.56)	0.28(0.13)	0.15(0.02)	1.07(< 0.04)	2.22(0.39)	2.33(1.62)
長尾類			0.09(0.48)	0.15(0.33)		0.19(0.91)		
異尾類			0.02(0.01)	0.05(1.19)				
短尾類			0.02(0.27)					
クモヒトデ類		0.09(0.05)	0.02(0.07)					
魚				0.05(0.44)				
合計		4.12(1.73)	0.58(4.38)	1.79(3.20)	2.14(0.53)	5.02(3.01)	5.46(2.366)	

* : 個体数/海草湿重量(g), (): 湿重量(mg)/海草湿重量(g)



千葉県浦安市大船場の海草動物の生態調査結果

本調査の結果から、海草動物の群落構造は、季節によって大きく変化する。特に、冬期には、海草の葉上に、多くの動物が棲息していることが観察された。これは、海草の葉が、動物にとっての重要な餌源であるためと考えられる。また、夏期には、海草の葉上に、多くの動物が棲息していることが観察された。これは、海草の葉が、動物にとっての重要な餌源であるためと考えられる。

図7 葉上動物調査